

アマミノクロウサギ 交通事故対策について



実施目的・内容

県道79号線は、村民の生活路線であり、車幅も広く直線的でスピードの出やすい道路で交通事故を防ぐ対策の一つは、運転手にできるだけ早くウサギの存在を認識させることである。

本取組では、以下の2つの点で運転手に働きかけるものである。

①多発区間3kmの端にマーク等を設置し、多発区間に入ったことを認識させる。

・区間の端には「Amami Rabbit」のような文字を入れて区間を示す。

②カラー塗装によって視認性を高める。

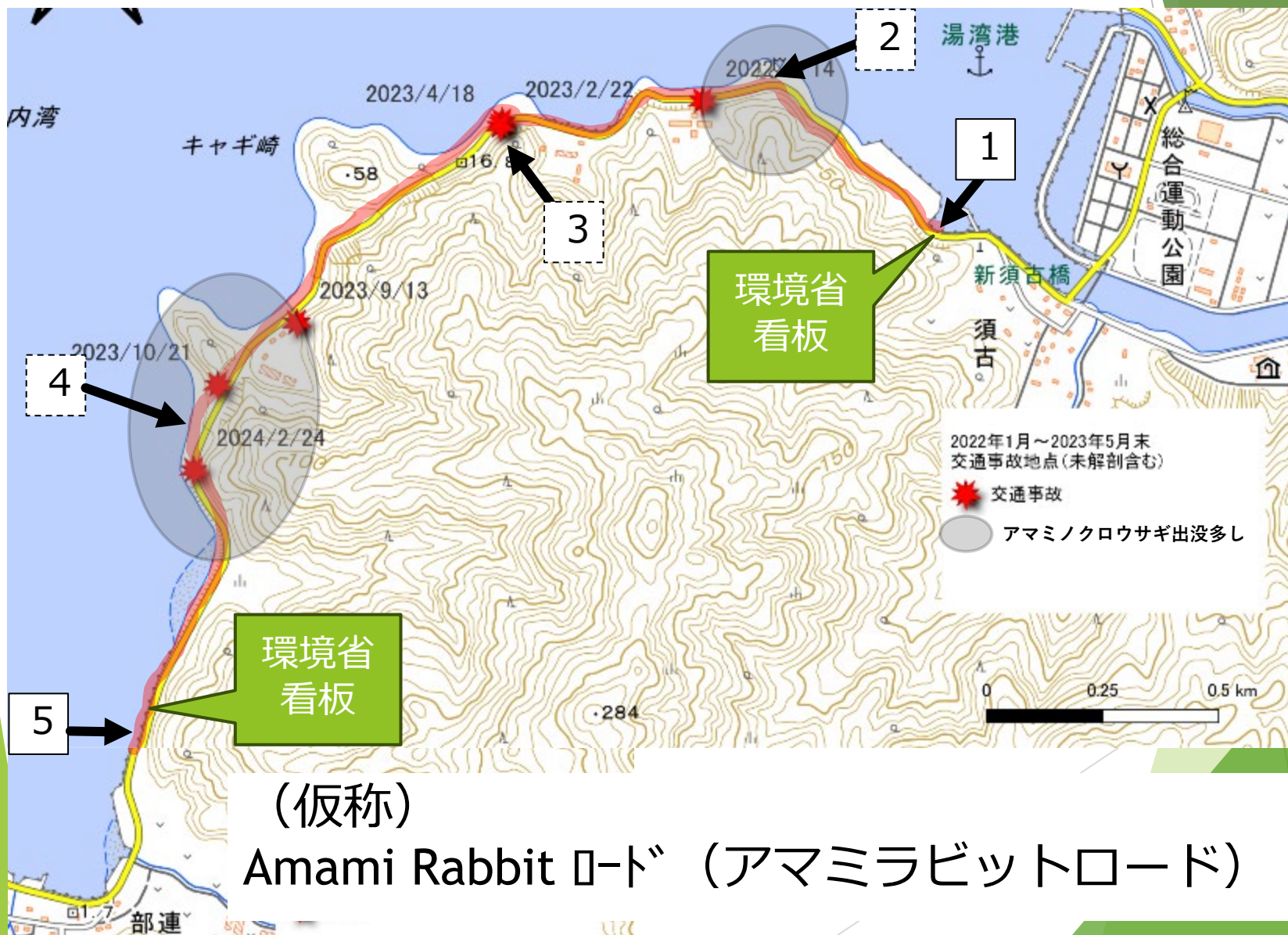
(ウサギが道路にいたときに見つけやすくなる)

・区間内において過去に事故がありかつ現在もウサギがよく出てくる場所を2～3箇所選び、カラー塗装を行う。このときにカラー塗装は、縞模様にして距離を長めにする。

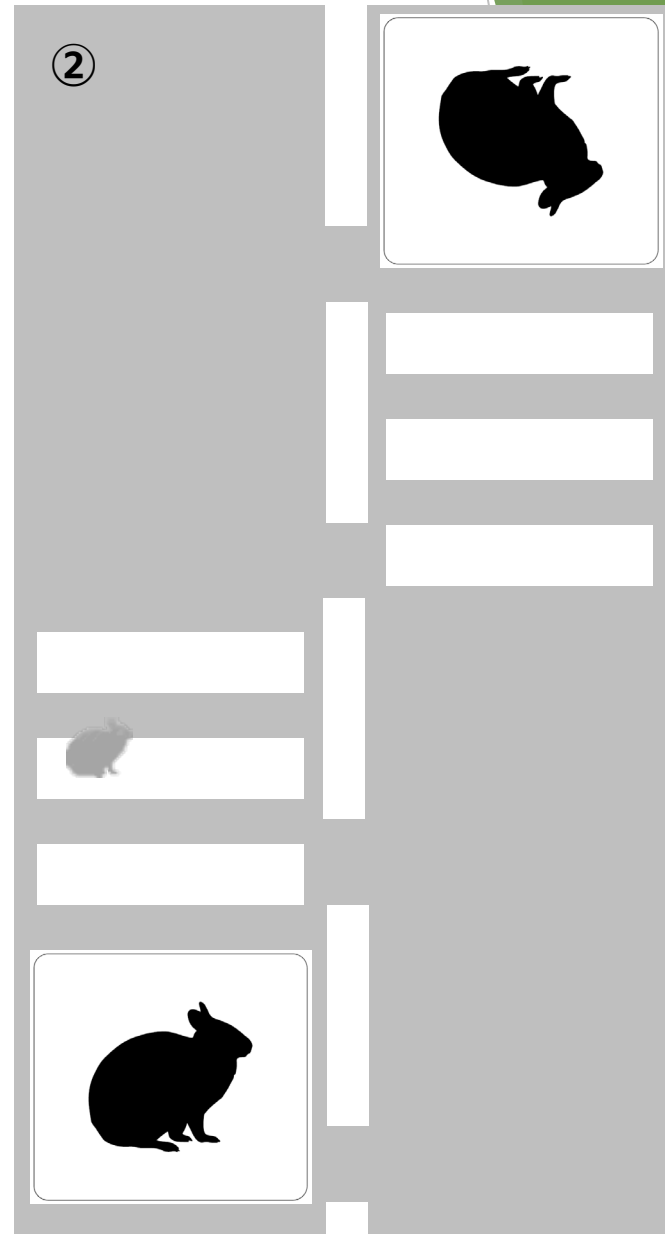
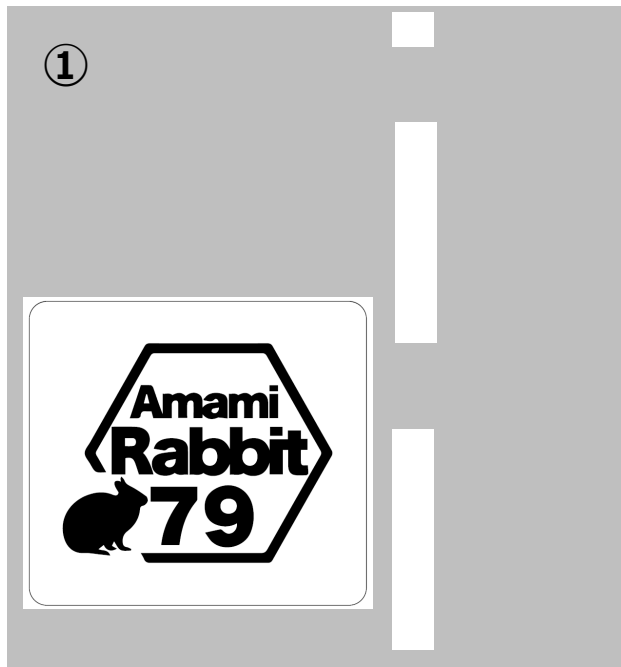
③取組の紹介や寄付金については、中間地点にある駐車場公園に看板を設置。

対策区間：

県道79号線須古集落から部連集落までの約3km



実施イメージ



ご静聴
ありがとうございました。